



PRESS RELEASE

令和 7 年 10 月 16 日

生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナーの開催

◆発表のポイント

- ・ 2025 年 11 月 8 日に、「生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー」を開催します。
(会場：岡山大学農学部 3 号館化学生物実験室)
- ・ 「遠隔マイクロマニピュレーター」による次世代の生殖補助医療技術の現状を第一人者が解説し、会場ハンズオンと Web 配信を実施します。

岡山大学生殖補助医療技術教育研究センターは、2025 年 11 月 8 日（土）に生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナーを開催いたします。講師は藤田医科大学・小林達也准教授で、顕微授精や胚生検を遠隔で行う「遠隔マイクロマニピュレーター」の開発背景から最新の運用までを分かりやすく解説します。第一部（10:00-12:00）と第二部（13:00-15:00）では、講義に加えて会場でのハンズオン実習を行い、Web 参加者には講義および実習の様子をライブ配信します。会場は岡山大学農学部 3 号館 2 階・化学生物実験室です。

本セミナーは、胚培養士の人材不足や教育の質向上という社会的課題に対し、先端技術の理解と技能のアップデートを支援する実践的な機会です。今後は、本学センターが地域医療機関と連携し、継続的な専門職教育の場を整備していきます。

◆研究者からのひとこと

遠隔操作技術は、人材不足や地域偏在の課題解決に資する現実的な選択肢です。現場で役立つ“明日からの一手”を持ち帰っていただきたいと思います。



田崎助教



PRESS RELEASE

■開催概要

日 時：令和7年11月8日（土） 第一部：10時～12時、第二部：13時～15時

場 所：岡山大学農学部化学生物実験室(農学部3号館2F)

参加費：ハンズオン 8,000 円、Web 2,000 円

講 師：小林達也（藤田医科大学医療科学部 レギュラトリーサイエンス分野 准教授）

「次世代 ART への挑戦：遠隔マイクロマニピュレーターの可能性」

内 容：ICSI や胚生検などの遠隔操作は、胚培養士不足に悩む施設における医療サービスの提供や、新人教育の質の向上に貢献する次世代技術です。本セミナーでは、この分野の第一人者である藤田医科大学の小林達也先生をお迎えします。遠隔操作技術の開発背景から最新の実機操作まで、その「現在地」を深く学び、そして体感できる貴重な機会です。未来の ART を切り拓く先端技術に、ぜひ触れてみてください。

* Web 参加の方は、小林先生の聴講と、会場でのハンズオンの様子をライブ中継でご視聴いただけます。

定 員：ハンズオン第一部、第二部ともに 15 名（先着順）、Web 参加 100 名まで

お申込み

参加をご希望の方は下記 URL のフォームに必要事項をご記入ください。

グーグルフォーム URL：<https://forms.gle/8X5PYyuR81PKxaNh6>

主催：お問い合わせ

岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター

info-art@okayama-u.ac.jp

共催：Nikon



<お問い合わせ>

岡山大学 生殖補助医療技術教育研究センター

助教 田崎 秀尚

（電話番号・FAX）086-251-8327



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

